

平成27年11月6日

各 位

会 社 名 イーター電機工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 高橋 洋
 (JASDAQ・コード 6891)
 問い合わせ先 取締役管理部長 増田 幸一
 (電話 03-3745-7762)

為替差損の計上及び平成28年3月期 第2四半期累計期間における業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成28年3月期第2四半期累計期間（平成27年4月1日～平成27年9月30日）において下記のとおり為替差損を計上いたしました。また、平成27年5月20日付「平成27年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました平成28年3月期(平成27年4月1日～平成28年3月31日)の第2四半期連結業績予想と本日公表しました実績値において差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 為替差損の計上

為替相場の変動により、当第2四半期連結累計期間において、為替差損22百万円を計上しました。これは、主に外貨建債務を当第2四半期末時点の為替相場で評価替えしたことにより生じたものです。

2. 業績予想と実績値の差異

(1) 平成28年3月期第2四半期連結業績予想数値との差異（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	1,760	70	35	15	1円45銭
今回実績 (B)	1,722	79	23	21	1円77銭
増減額 (B-A)	△38	9	△12	6	
増減率 (%)	△2.2%	12.9%	△34.3%	40.0%	
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期第2四半期)	1,559	6	△2	△14	△1円46銭

(2) 差異の理由

平成28年3月期第2四半期累計期間の連結業績につきましては、売上高は若干予想を下回りましたが、営業利益はコスト削減等の効果が発現し予想を上回る結果となりました。一方、経常利益につきましては、営業外費用に為替差損22百万円が発生したことにより、予想を下回る結果となりました。この為替差損は、外貨建債務を当第2四半期末時点の為替相場で評価替えしたことにより生じたものです。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては非支配株主持分の控除が予想より減少したことにより、予想を上回る見通しとなりました。

なお、通期業績予測の変更はありません。

以上